



まちづくり 住民意向調査 結果の概要

町では、現在策定中の総合計画の基礎資料として活用するために、まちづくり住民意向調査を実施しました。

意向調査の結果からは、新しいまちづくりの方向性として、90%以上の方が「安全で快適に暮らせるまちづくり

南三陸町 総合計画 策定に向けて

特集

町では、平成19年度を初年度とする総合計画を、町民との協働で創り上げようと、現在、策定に取り組んでいます。今回は、5月に実施した「まちづくり住民意向調査」、7月にまちづくりワークショップから町長に提出された「まちづくり提言書」についてお知らせします。

（96・5%）「安心して健やかに暮らせるまちづくり」（95・3%）「豊かな自然と共生するまちづくり」（91・4%）が重要であると回答しています。

意向調査の結果に示されている「町民の声」を、総合計画の策定にあたり貴重なデータと考え、基本構想案などに反映させていきます。

調査の方法

調査期間 5月16日（火）

～31日（水）

対象 南三陸町在住の18歳以上の町民から2、00

0

回収率 0人を無作為に抽出
53・7%
（1、074人）

まちづくりの方向（目標）

志津川町・歌津町の合併に際して策定された「新町建設計画」におけるまちづくりの方向に関して、特に「安心・安全」を重要視する声が高くなっています。

これらについては、「非常に重要である」（それぞれ、71・0%、72・3%）という割合が他の項目と比べて極めて高く、町民の高い意識を反映する結果となっています。

まちづくりの目標について（住民意向調査の結果）

